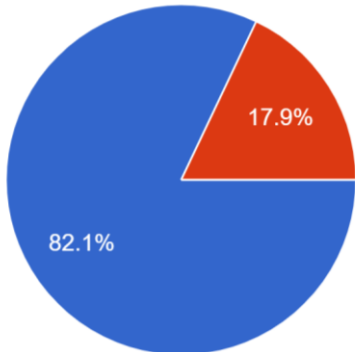


◎所属

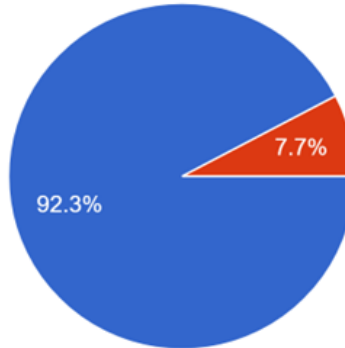
職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	4	歯科医師	16	薬剤師	3
保健師/看護師	17	リハビリ職 (OT.PS.ST)	10	主任ケアマネジャー/ケアマネジャー	3
介護福祉士/介護士	2	管理栄養士/栄養士	8	歯科衛生士	3
MSW	1	所属不明	5	合計	72

◎本日の研修はいかがでしたか？



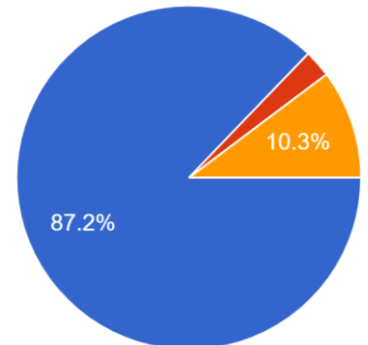
- 大変良かった
- 難しいところもあったが概ね良かった
- 難しく理解できないところが多かった

◎本日の研修は今後の診療やケアに役に立ちますか



- 大変役立つ
- まあ役立つ
- あまり役に立つとは思えない

◎研修時間



- ちょうど良かった
- 長かった
- 短かった

◎印象に残った内容・言葉等を教えてください

- ・ 食べるは最後の機能。
- ・ 物語をつくる。
- ・ 嚥下より咀嚼のほうが難しい。
- ・ 嚥下内視鏡等の検査を実施することで、検査をしないと食事ができないと思われてしまうがそういったことは全くない、というお話が印象に残りました。
- ・ 食べられなくなっていくことは諦めてはいけなかったと思いました。
- ・ 食べさせるのではなく、食べることを支えるアプローチ。
- ・ 嚥下摂食リハビリテーションは人生の最終段階であるリハビリテーション医療である。
- ・ 「殺人的なとろみ」病院で勤務しております看護師です。お恥ずかしい事ながら最近判明したのですが、とろみの3段階について未知である職員が多数いたことです。VEを行ってSTが助言できない状態の患者に看護師が個人の判断でとろみを提供しなければと考えた結果、多くが濃いとろみでした。私個人はJSDR学会認定士として知識を得たのですが、教育が不十分であることを知りました。病院であり、NSTチームもありますので、地域に戻る患者さまへ安定した食事ができることを準備して支えていけるように、チームから職員へ発信できるようにしたいと考えております。基本的欲求の食事は自分も含めて大切な「生きる」ことである価値感を広げられるように頑張りたいと思う研修でした。ありがとうございました。
- ・ 食べるを支える為に本人の機能にあった食事を提供。
- ・ 薬の併用に関する口腔環境について。
- ・ 患者様の嚥下機能にただ合わせた食事を提供するのではなく、患者様が満足出来るよう支える支援が必要だと言う事。

- ・嚥下の評価にVFや内視鏡よりも、摂食状態の観察が重要であるとの指摘。
- ・嚥下機能低下と咀嚼機能低下の違いを見極めアプローチしていく。
- ・薬剤の組み合わせで舌が黒くなること。
- ・食べられないを支える、という言葉が印象でした。
- ・患者さん家族と在宅で繰り返し話し合うこと。病院だと時間的制約もありますが、一度で納得できないことは当然あるでしょうし、その気持ちにできるだけ寄り添いたいと思いました。
- ・嚥下と咀嚼の機能は別。
- ・地域で暮らす、地域に戻るためには、口腔内のアセスメントや食べるための機能をきちんと把握することが大切。他の身体面精神面に目がいきがちだけれども、食べることに目向けられればより家で過ごせる時間が増える可能性があること。
- ・舌が黒くなる原因・・・薬剤の飲み方の検討で変わる治る。
- ・食べないことを受け入れるということ。摂食嚥下機能の低下のステージを理解することは大事だと思った。
- ・とろみを使った食物にして栄養を取る方法もあるんですね。
- ・病院内に口腔評価の専門職がおりませんので、往診歯科との連携の重要性を改めて感じました。
- ・家族の思いと医療者の思いをすり合わせるのにどのようなことを留意したらいいのかという点。
- ・食べられないを支える。
- ・生活の中で「食事を楽しむ」という視点から患者様を支えることが大切と改めて感じました。
- ・食べられなくなっていく過程で物語としての食を支える。
- ・食べられないことを支える 素敵なところ・・・。
- ・「医療モデル」と「生活モデル」のお話の中で「生活モデル」を意識して生活期の患者様と接することが重要であると感じた。
- ・食べられないを支えるということはとても印象に残りました。
- ・「食べられないを支える」という考え方は無かったので、なるほどと思った。

◎本日の研修についてご意見・ご感想を一言お願いします

- ・まずは実践。
- ・ありがとうございます。
- ・大変勉強になりました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。
- ・理解が難しい場面はありましたが事例や写真を含めた研修だったので非常にわかりやすい研修でした。
- ・事例では驚く写真もあったが口腔ケアの重要性を再確認し、説明もわかりやすく咀嚼と嚥下についてさらに勉強できた。
- ・嚥下機能の低下は栄養摂取に大きな影響を与えますが、同時にお薬の服用にも深く関与すると思いました。薬剤師として在宅訪問も行っておりますが、外来として薬をとりにくるヘルパーさんやご家族様にも栄養摂取、薬の服用に関して相談を受けることも多いため本日の勉強会の知識を今後の業務に生かしていきたいと思えます。
- ・嚥下だけでなく内服や栄養に万遍なく触れていただき、他職種の考え方や見方も学べとても有意義な研修でした。
- ・咀嚼と嚥下を分けて考える、という視点は合点がいきました。
- ・とてもわかりやすく考えさせられる研修でした。学んだことを現場で活かしていきたいです。
- ・歯科医の先生視点の嚥下障害について知ることができ大変勉強になりました。今後の介入に活かしていきます。
- ・今後も参加させていただきたいとおもいます。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりましたし、新たな発見、知識を知ることができました。訪問する際に口腔内、歯という部分もきちんとアセスメントできるよう務めていきたいと思えます。ありがとうございました、また参加させていただきたいと思えますのでよろしく願いいたします。
- ・在宅で歯科治療を受けられなくなっている人を再確認して、訪問歯科治療をおすすめしていかなければならないと思った。
- ・参考になるお話をたくさん拝聴できました。
- ・大変勉強になりました。来てよかったです。ありがとうございました。
- ・菊谷先生のお話が聞けて大変良かったです。ありがとうございました！